

みみちゃん通信 NO.8 岐聖大ふぞく幼稚園 発行

秋の深まりとともに身近な木々の葉が赤や黄色に変わり、やがて風に吹かれて落ち葉になっていきます。色とりどりの木の葉のように、子ども達も十人十色、個性豊かな美しい色をもっています。金子みすずさんの詩の中に「みんなちがってみんないい」というフレーズがあります。一人ひとりにはそれぞれのよさがあり、お互いみんな大切だね...という思いが込められているようです。子どもを取り巻く私たち大人もそれぞれの役割を十分発揮しながら、一人ひとりの成長を温かく見守り、大切に育てていきたいと思っています。

秋の自然を満喫しています



芋掘り、稲刈り、どんぐり拾い、金華山登山など、この時期ならではの体験を園内あるいは園外に行っていました。今年の芋掘り遠足は、途中で雨に降られて翌日、もう一度出なおし、子ども達は2日間も遠足を楽しむことができました。もうすぐ園庭で焼き芋パーティをする予定です。小さな田んぼで育てたお米は、子ども達の手で稲刈りと脱穀をし、後日、おにぎりにして食べるそうです。自分たちで育てた新米の味は格別なことでしょう。

そして、芝生の園庭東側の花壇には、年長が大根の種をまき、黄緑色の葉っぱがぐんぐん生長しています。その隣に年中さんがほうれん草を、プランターには年少さんが小松菜の種をまきました。野菜が豊富に収穫できたらみんなで食べようと思っています。野菜の嫌いな子もきっと食べてくれることと楽しみにしています。

健康な体づくりで風邪を予防しましょう

気温が下がり、空気が乾燥してくると気をつけたいのが風邪です。うがいと手洗いが風邪予防の基本です。小さなお子さんにもできる方法で習慣づけましょう。また、規則正しい生活でウィルスを寄せつけない体づくりも大きな風邪予防になりますので、ご家族みんなで気をつけていきたいものです。

せっけんて手洗い



カラカラうがい



3食しっかり食べる



早寝・早起き



寒い季節を快適に過ごす服装とは... 普段の服装は活発に遊べることを優先して考えてみましょう。

下着を着る...

保温性・吸湿性を考えると綿100%の半そでが一番。Tシャツは下に着るとごろごろして動きにくくなるので、下着には不適切。



薄手の重ね着...重ね着により服と服の間に体温で温まった空気の層ができ、厚手1枚よりも保温性が高く、薄手なら動きやすく機能的。

学研「ほけんだより
12か月」より

要注意

着脱しやすいもの...ファッション性よりも、ボタンやホックをはめやすく、ひとりで着脱できるものがよいでしょう。

鼻水や鼻づまりをほおっておくと、鼻やのどの粘膜が炎症を起こし、他の病気の原因になることもあります。早めの受診を心がけましょう。